



安全第一

ゼロ災害宣言 2019

【取組期間】

平成31年4月～令和2年3月

【強化する取組】


- ① 「現場KY能力向上教育」の実施
- ② クリーン作業時の「立入禁止措置」の徹底
- ③ 足場設置完了時の元請確認実施の徹底

上記の期間、わが社は、ゼロ災害を達成するため、上記の取組を強化します。

平成 31 年 4 月 11 日

会社名 齊藤建設株式会社

代表者署名

 斉藤 啓文

(社長の自署)

このゼロ災害宣言は、全ての労働者が一体となって行動するために、事業場及び現場の見やすい場所に必ず掲示してください。

なお、この取組の広がり把握したため、宣言後、建築防山梨県支部あて送付していただくようお願いいたします (Fax: 055-228-8882)。

ゼロ災害宣言 2019

山梨県内の建設業における死傷災害は、平成24年以降4年連続で増加し、平成23年(107人)を基準として、平成27年までの増加率は30%(139人)に達した。この間の死傷災害の増加を受け、平成28年度に「山梨県建設業ゼロ災害宣言運動」を新たに展開し、2年間にわたり継続したところ、死傷災害は27年を基準として平成28年には、25.9%の減少(103人)を経て、平成29年、30年と、ほぼ横ばいを維持し、また、死亡災害は運動に取組んで以降、平成29年、30年には2人と平成28年の5人から減少傾向を示している。

死亡災害を撲滅に向け、更には「山梨県13次労働災害防止計画」の目標値である「死亡者数を2017年と比較して2022年までには15%以上減少させることを基本としつつ、災害の動向を踏まえ山梨12次防期間中と比較して山梨13次防期間中の労働災害による死亡者数の総数を30%以上減少させる。なお、最低限山梨13次防期間中どちらか一方の目標を達成するものとする。」を達成するためには、発注者、元請事業者、下請事業者等の関係者のより一層の積極的な取組が求められる。

よって、本年度中に労働災害を発生させないという強い決意を持ち、私たちが皆トップが、年度当初に安全宣言を行い、現場に明示することで、現場作業全員が一丸となって現場の安全を確保することを目的としたゼロ災害に取り組み、より安全で働きやすい現場の実現を目指すことを決意し、ここに宣言する。

平成31年4月11日

齊藤建設株式会社